

たからものは何？——さいごまで聞く

単元の位置	1 SO	2 SO	本時 3 YT	4 YT	5 EC◎	6 EC◎	7 OH	8 OH◎
-------	------	------	---------	------	-------	-------	------	-------

前時：第2時 絵カードの練習とサイコロトーク1周目／次時：第4時 サイコロトーク2周目とかきかたワーク①

この時間を3行で	① What's your treasure? の往復を練習し、きくワークで5人のたからものを聞き取る ② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい ③ 〇③④で、さいごまで聞いてから書いているか
----------	--

本時の目標	What's your treasure? — My treasure is のやり取りを聞いたり言ったりして、たからものの言い方とたずね方を知り、5人の自己紹介から、たからものとそのわけを聞き取ることができる。（知識・技能）
めあて	さいごまで聞いて、たからものを聞きとろう
評価	本時は記録に残す評価を行わない（〇24-34 ③④で、とちゅうで書いてしまう子）

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	あいさつ。教科書の歌（デジタル教材）。終わったらスライドショーを始める。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
5-10 全体	帯：歌／チャンツ 教科書のチャンツ（デジタル教材）。自分のことを言う文を思い出す。	T チャンツで、自分のことを言う文を思い出そう。	▶S2
10-15 全体	影の絵を見て何かを当てる（2枚）→たからものの絵カード8枚を、先生のあとについて文で言う。	T What's this? （影を見せて）これは何？ T 型：My treasure is my _____. ①glove ②bicycle ③book ④photo ⑤guitar	▶S3-7〔絵カード〕 ・絵カードは例。持っているかどうかは聞かない
15-17 全体	めあてを読む。とちゅうで言い直す問題もあると聞く。	T とちゅうで言い直す問題もあるよ。さいごまで聞こう。	▶S8
17-24 全体→ペア	What's your treasure? の往復。先生がたずね→全員が絵カードから1つ選んで答える→ペアで1分×2（相手を替えて）。 S: My treasure is my book.	T What's your treasure? （全員にたずねる）たからものは何？ T Change partners. 相手を替えて。	▶S9-11〔ポスター〕 ◆言えない子は、絵カードを指して単語1つでよい（配慮④）
24-34 ひとり	きくワーク1（5問・2回ずつ）→2 ボーナス（すき？とくい？）。たからものは絵か日本語でよい。	T Just listen. （1回目）聞くだけ。 T Now, write! （2回目）書こう。	▶S12-14〔きくワーク〕 ・読み上げ文は紙の先生用ページ ・③④はとちゅうで止めない。答えを先に言わない 〇③④で、とちゅうで書いてしまう子を覚えておく（記録しない）
34-37 全体	答え合わせ（さいごに言ったものが答え・⑤は手にとれないたからもの）→3 ①～⑤に全員で返す。	T さいごに言ったものが答えだよ。⑤は、ものじゃないたからもの。	▶S15-16〔きくワーク〕 ・答え合わせは全体で。1人ずつ答えを言わせない ⇒2
37-45 全体→ひとり	振り返りカードの毎時間の欄に1行。	T さいごまで聞いて、たからものを聞きとれたかな。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S17-18〔振り返りカード〕

第3時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 本時は指導に生かす評価

本時は記録に残す評価を行わない。
○24-34 ③④で、とちゅうで書いてしまう子→34-37 の答え合わせで「さいごに言ったものが答え」を全員で確かめる（その場の手立て：2回目を読む前に「さいごまで聞くと答えが変わるよ」と全体に1回だけ言う）
評価に入れないこと：たからものの書き方（絵や日本語でよい）／きくワークの答えの正しさ／選んだ絵カード（持っているかどうか）／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

34-37 ・4（となりに1回だけ言う）は時間があれば

板書計画

左	中：会話の型	右：たからものは
日付・第3時 めあて	（聞く人）What's your treasure? （話す人）My treasure is	もの・人・場所・時間（⑤の答え のあとで書く）
黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から） テレビ（映すだけ）：きくワークの答え（映すだけ） 書かないもの：きくワークの点数／児童の名前		

ALT

いるとき：・17-24 は ALT がたずね、先生が答えるお手本
・きくワークの読み上げを ALT に頼んでもよい（読み上げ文は〔きくワーク〕の先生用ページ）
いないとき：・往復のお手本は先生1人で二役
・きくワークは先生がゆっくり2回ずつ読む
ALT に頼まないこと：Please don't pause partway through a question, and please don't give the answer early. Please don't ask where students bought their things.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：答えるのは絵カードのたからもの（例）。自分の物や持っているかどうかは聞かない
くらべる：きくワークの点数を言わない・集めて数えない
目立つ：答え合わせは全体で確かめる。まちがえた子を当てない
単元計画の配慮①：宝物は「もの」でなくてよい（人・場所・思い出・ペット）。実物の持参は求めない設計にしてある
単元計画の配慮④：英語が出ない子は絵カードを指す＋単語1つから。言えた文の数はくらべない

時間が足りないとき

削る順：①きくワークの3（返す）は答え合わせのあと1問だけにする
②ペアの往復（17-24）は1分×1回にする
削らないもの：たからものの往復（17-24）と、きくワークの1
前の時間が終わっていないとき：第2時のサイコロトークが終わっていないければ、朝の時間に回す（この時間にはしない）

準備物

- ☐ [きくワーク] 人数分（先生用の読み上げ文つき）
- ☐ [絵カード] 提示用1部
- ☐ [キーフレーズポスター] 掲示
- ☐ [振り返りカード] 人数分（単元を通して同じ紙）